



長岡造形大学展示館 MāRoù の杜 会場

大学院特別研究

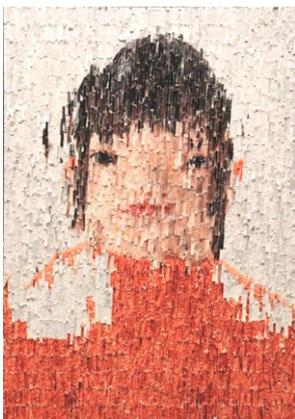
(修士課程有志7名)



「DOUGHNUT HOLES」

飯塚 純

Jun Iizuka / 視覚デザイン領域



「No correct answer」

永田 紗和子

Sawako Nagata / 視覚デザイン領域

記憶の中の曖昧な図像を、写真を用いて表現した作品。

その他、固定観念や普遍性をテーマにした作品を制作。

飯塚 純

Jun Iizuka

岩本 彩花

Ayaka Iwamoto

軍司 円

Madoka Gunji

坂井 友美

Tomomi Sakai

永田 紗和子

Sawako Nagata

中山 綾乃

Ayano Nakayama

山田 モモ

Momo Yamada



長岡造形大学展示館 M&Rou の社 会場



岩本 彩花

Ayaka Iwamoto / 美術・工芸領域

「版画は（主として）紙に刷られた印刷物である」という前提に立ちかえりながら、世界の具体的事象を記述しようとしている。

「見たいと思う」リトグラフ、シルクスクリーン

坂井 友美

Tomomi Sakai / 美術・工芸領域



「mezzo 1」「mezzo 2」「mezzo 3」キャンバス、小国和紙、油彩



長岡造形大学展示館 MāRou の 社 会 場



「Welcome to our planet」キャンバス、油彩

中山 綾乃

Ayano Nakayama / 美術・工芸領域

地球は今、新たな地質年代「人新世」に突入したと言われている。これは人間活動が地球環境に大きな影響を及ぼしていることの表れであり、〈人間〉という種を中心性に疑問を突きつけるものでもある。こうした世界の変容とともに、私たち人間はそこにどのような存在として、どう帰属し、誰と共生していくのかを考えなければならなくなった。それを実践するために、私は絵画平面上に地球という居住場所の一角を措定した。そこに以前から存在する法的、空間的、管理的、地理的、人間中心的な規定を絵具で塗りつぶし、その上に新たな人間の在り方を展開していくことで、そこに帰属する様々な方法とあらゆる他者たちの記述を試みる。

山田 モモ

Momo Yamada / 美術・工芸領域

場所や物事にまつわる痕跡から、抽象的な他者を想像することで感じる感覚について。



「私があなただった時」



長岡造形大学展示館 MâRou の 社 会 場



「私が日本酒を飲む理由」

軍司 円

Madoka Gunji / イノベーションデザイン領域

香りや味わいが好きだから。長岡が日本酒で有名だから。大人の仲間入りをしたいから。辛いことを忘れたいから。日本酒を飲む理由が十人十色であるように、日本酒にもたくさんの銘柄が存在し、その時々のお気持ちに合ったものを選ぶことができます。本作は、日本酒を飲む「私」という存在を題材として、日本酒を飲む時の気持ち、選んだ銘柄やその理由などをオートエスノグラフィーによって顕在化させたものを酒瓶で表現しました。